



速報新聞

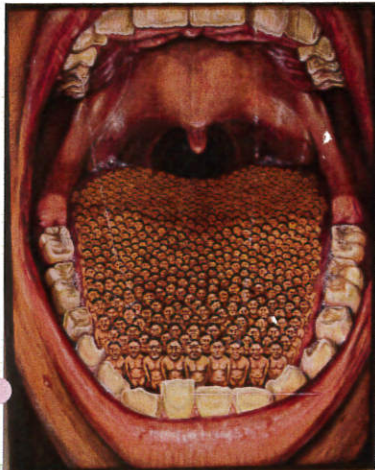
キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号

▶ 箏曲部は開会式で演奏を披露した。



▶ 大西君の「くち」



▶ 尾本さんの「本日の神饌」君のイノチを添えて」



# 県総文開会式 行われる

## 文化部が日々の成果を発表

10月22日に栗東芸術文化会館さきらで滋賀県高等学校総合文化祭(県総文)開会式が行われた。本校からは美術・工芸部門と文芸部門に出品された。また開会式では箏曲部が日本音楽部門の代表として演奏し、それぞれの部活が日頃の活動の成果を披露した。

開会式で「龍言」を披露した箏曲部の部長を務める藤井南々帆さん(2-3)は「日本音楽部門代表なので、それに見合った演奏を出来るように頑張りたい」と話し「全員で心を一つにして聴いている人の心に残る演奏をしたい」と意気込んだ。また演奏した「龍言」について大谷奈々さん(2-2)は「入部のきっかけとなった『龍言』を弾けるのがうれしい。全国大会に出場し、先輩の背中を迫るように頑張りたい」と思いを述べた。美術・工芸部門では大西匠君(3-7)の「くち」



▶ 開会式で表彰される渡部君

と尾本優里香さん(3-6)の「本日の神饌」君のイノチを添えて」が展示された。また文芸部門に文芸部の部誌である「窓」が出品された。さらに開会式では県総文のテーマ「生み出そう創造の輪 繋げよう交流の輪」の発案者である渡部洋己君(2-1)が表彰された。渡部君は「最優秀テーマに選ばれてうれしい。県総文は県内の同じ部活やほかの部活同士で交流する機会なので、互いに高め合えたら良いと思ってこのテーマにした」と頬を緩めた。新聞部門では本校と虎姫高校、石山高校の新聞部が協力し、速報紙「うみな通信」を制作、各校の部員たちで約800枚を開会式終了後に配布した。